

図書館サポーターズだより

明日に吹く風



夏休みも明け、段々と暑さも和らぐ季節になってきました。みなさんも図書館でのんびりと「読書の秋」を過ごしてみませんか？それでは今回も、図書館サポーターズがおすすめる本を紹介します！

～図書館サポーター推薦図書～

『国宝の解剖図鑑』

佐藤 晃子 著 (709.1 || Sa85)

国宝です！って言われても何がすごいのか正直分からない。昔の人がつくったものがそのまま残っているからすごいのか？詳しい人が聞いたら怒られるんじゃないかって思うようなことを、高校生の時に日本史の教科書で国宝資料が出てくる度に考えていました。そんな私が出会ったのが今回紹介する本「国宝の解剖図鑑」です。国宝に焦点を当てて、美術品や建築物、考古資料はどこを見ればいいのか、1つ1つ紹介されている本です。芸術系のもはどどこがどう凄いのか全くとっていいほど分からない、よくて刺繍とかレースの細かさなら！みたいな私も「この国宝はここが凄いのか！」と理解できるほど細かく書かれています。手に取ってみて、日本人の緻密さに驚いてみてください！



(H・T)

『倒産続きの彼女』

新川 帆立 著 (913.6 || Sh64)

法律事務所に勤める美馬玉子は、容姿端麗で恵まれた環境で育った先輩剣持麗子に苦手意識を持ちながらもコンビを組むことに。倒産危機にあるゴーラム商会で「会社を倒産に導く女」と内部通報された近藤まりあの身辺調査を行うことになった二人は、リストラ勧告に使われる通称「首切り部屋」で本当に死体を発見してしまう。そこから二人は奇妙な事件に巻き込まれていく…。この小説は、第19回『このミステリーがすごい！』大賞を受賞し、ドラマ化された『元彼の遺言状』の続編となるお話です。前作の主人公・剣持麗子が今作では玉子視点で描かれており、前作とはまた違った面白さがあります。「誰が内部通報したのか？」「殺人犯は誰なのか？」最後まで目が離せない一冊です！



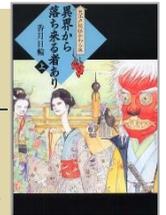
(C・M)

『異界から落ち来る者あり』

香月 日輪 著 (913.6 || Ko99 || 1)

この物語は、妖怪の世界に落ちてしまった一人の人間のお話です。ある日、主人公・雀は元居た世界と全く違う世界である魔都・大江戸に来てしまいます。魔都・大江戸は妖怪たちが暮らしている世界で、人間は雀一人だけ。その世界に落ちてきた雀はかわら版屋で記者として働くこととなります。しかし、元の世界と大江戸の世界では時間の流れが違うため、帰りたいなら早く帰らないといけません。果たして雀は元の世界に戻るのか…。

この物語に出てくる妖怪たちはとてもやさしい妖怪が多く、読んでいて心が温まります。江戸っ子言葉も魅力的！主人公・雀がどのようにかわら版屋で働き、どんな記事を出していくのかも見所です！ぜひ、大江戸妖怪かわら版シリーズを読んでみてください！



(Y・K)

